

国際協力出前講座

テーマ別授業案

【キャリア教育】

1. 自己紹介

簡単な自分史紹介

- 学生時代の話（聴講者と同じ年代の頃はどんな子どもだったか）

国際協力の道に進んだきっかけ

- どうして協力隊に興味？
- 参加するために準備したもの
- 社会人経験者であれば前職の話

JICA海外協力隊とは

Q1. 派遣されている国の数は?

A. 10カ国 B. 30カ国 C. 70カ国

Q2. これまでにどの位の人が参加した???

A. 約4千人 B. 約1万人 C. 4万人以上

Q3. 仕事の種類はどのくらい??

A. 10種類 B. 50種類 C. 100種類以上

海外協力隊の心得

あなたは世界を旅する釣り人です。
ある国でお腹を空かせて困っている人に出会いました。

あなたはこの人を何とか助けてあげたいと思いました。

さて、あなたならどうしますか？

海外協力隊の心得

魚を釣ってあげるのではなく、
魚の釣り方を教える。

旅人がいなくなった後でも、
現地の人達だけで
魚が獲れるかも。



2. 派遣国の紹介

現地の文化

- 生活習慣
- 食事
- 衣服
- 祭り
- 宗教

等を中心に紹介

映像や写真、クイズなどを交えて紹介

3. 活動紹介

派遣国、配属先の課題

- どんな開発課題があったか。
- 解決するためにどんな活動を行ったか。
- どんな反応があったか。
- 結果、どう変わったか。
- 海外協力隊だからできたこと。

等

4. 苦勞したこと・よかったこと

- 活動する上でどのような困難があり、どのように乗り越えたか
- どのようなことにやりがいや喜びを感じたか
等

例：スポーツ教室の生徒はモチベーションが低くやる気がなかった。⇒運動の楽しさを伝えることで前向きに取り組むように変化。⇒一緒に目標設定することで、向上心が芽生えた。生徒の成長にやりがいや喜びを感じた。

5. 二年間を振り返って

- 国際協力の道に進んで得たものや成長したこと、二年間を通じての変化
- 帰国後の生活にどのように役立っているか、もしくは今後どのように役立てたいか

例①途上国の現場経験を得て自信を獲得。一方、専門知識の不足も感じ、大学院進学に向けて準備中。

例②途上国の農村と日本の過疎地域が抱える課題は共通していると気づいた。日本の地域にも貢献したいと思い、地域おこし協力隊に応募。

6. 終わりに

二年間の海外協力隊活動を通じて、
自分の経験から伝えたいこと

- 夢や目標を持つことの大切さ
- 自分自身が考える『仕事観』や働き方
- 子どもたちへのメッセージ

等